土岐市公の施設における指定管理者選定委員会　議事録

日時　：　令和8年10月14日（水）　9時10分～11時00分

場所　：　土岐市役所　3階　大会議室3A

施設　：【土岐市どんぶり会館】

委員　：　太田幸治、松岡剛生、西尾隆吏、鷲見直人、奥田勝利、籠橋昭範（敬称略）

区　分	発言者	内　　容
開会 委嘱状交付	事務局	これより土岐市公の施設における指定管理者選定委員会を始める。本日の進行は委員長選出まで、事務局が進めさせていただく。 委嘱状の交付。本来なら市長が参り委嘱状をお渡しすべきだが、所用によりお手元に配付させていただいた。委員の皆様のご紹介はお手元の委員名簿にてかえさせていただく。
指定管理者制度及び施設の概要の説明	事務局	指定管理者制度及び施設の概要について説明。
委員長選出	事務局	次に委員長の選任に移る。委員会の設置要綱では委員長は委員の互選によることとなっているが、何か意見はあるか。
	事務局	ご意見がないため、「事務局一任」でよろしいか。 事務局としては学識経験者の太田委員にお願いしたいがどうか。
	委員	「異議なし」
	事務局	それでは、委員長は太田委員に決定し、以降の進行をお願いする。
土岐市どんぶり会館に関する議事		
議　　事		
1．申請書類について意見交換	委員長	申請者の申請書類を見ていただき、内容について意見をいただきたい。
	委員	資産等の部分で見ていくと、最終期の5年間の安全性を見させていただいた。自己資本比率について、株式会社志野・織部（以下申請者Aと表記）については、総資産から考えると問題ないと考えるが、市の納付金が計上されている中で、赤字だった場合にどうなるのか疑問が残る。直前2期について、営業損失は出ているものの、計上利益は出ているため、自己資本比率の高さもあり、問題ないと考える。 とき窯元共販協同組合（以下B1と表記）・株式会社アルファポイント（以下B2と表記）共同企業体（以下申請者Bと表記）については共同運営ということであるが、申請者B1について、自己資本比率が高い部分が見受けられる。市への納付金は計上利益の10%ということであり、予算案からの計算では年2万円程度と考えられる。経常利益平均は高くないものの、自己資本比率の高さもあり安定していると言える。申請者B2について、直近での平均経常利益がマイナス約500万円程赤字になっている。総資産のうち貸付金や有価証券については申請者B2の関連会社への貸付金などになっており、それを除くと自己資本比率が低くなってしまう。商品在庫が3期で850万円から2,200万円と増加しており、売り上げは伸びているが、商品在庫も増えているというところが見受けられる。
	委員長	ただいまの意見を参考にして、これから行うプレゼンテーションの後、採点をお願いしたい。
2．プレゼンテーションの進め方について	事務局	プレゼンテーションを15分行い、その後10分程度の質疑時間を設ける。 採点方法については、プレゼンテーション及び終了後の意見交換後、審査表に評価を記入いただく。申請者が2者のため、合計点が高い方で、かつ、満点の6割を超えた場合、採用とする。

区　分	発言者	内　　容
3. 申請者によるプレゼンテーション		
申請者A		
質疑応答		
質疑	委員	市への納付金が5年間で700万円ということだが、赤字の場合でも納付金を出すということでよろしいか。
	申請者	基本的には提案通りの納付金を想定している。重大な事故やその他トラブルなどがあった場合には市と協議する。
	委員	その場合の資金については、どんぶり会館の収支から出すということになるのか。
	申請者	本社とどんぶり会館と分けて考えていくため、収支から納付することを考えている。その際も見直しなどを行い、納付できるよう調整していく。なお、売上金額について、大幅に増えるということを想定しているわけではない。現在は食品部分の売り上げが高いが、陶磁器部分での比率が少ない。今後は陶磁器の販売を増やすことを行っていくため、利益が出ると考えている。
	委員	現状、どんぶり会館の2階は喫茶店やパンなどの販売をしているが、そういったものも変えていく考えか。
	申請者	基本的には変える予定。現在、そこに来る人は地元の人が午前中にコーヒーなどを飲みに来るというところである。一般の人で食事を楽しみに来ている人は少ないと考える。もう少し料理などにも特色がある内容に変更し、外部からの呼び込みと地元の人が気軽に来れる部分と分けていきたいと考えている。
	委員	陶磁器の販売について、一般用から業務用への販売転換を行っていく考えであるのか。
	申請者	以前、イメージされている業務用というのは温泉旅館などで使われるものであり、現在も一部の割烹などで提供されているものがある。実際は、家庭用と業務用の差があまりなくなってきている。どんぶり会館については、業務用を意識して、サイズなども少し大きくしたものを想定している。岐阜県内の地場産品なども併せて業務用販売というところも考えている。なお、一律に一般家庭用を撤去するということではない。
	委員	現金買取方式の導入・拡張について、窯元から直接仕入れるということで、委託販売とは違うということでよろしいか。
	申請者	違うものである。現在、自社においても買い取りを行っており、持ち込みしてもらったものをその場で買い取り、支払いをしている。自社で全量買取をしたものを販売しているため、利益なども出るようになっている。
	委員	これからの運営の方針として、業界連携を示しているが、具体的なステップをどう考えているか。
	申請者	一番最初はどういう商品を置くかということ。市場を見ると、商社のオリジナル商品や窯元の商品をそのまま売っているところがある。商社としては、自社のオリジナルを販売したほうが利益は出るが、在庫などを抱えないといけないリスクがあるため、窯元の商品をそのまま売るという2つのやり方を行っている。どんぶり会館では、商社のオリジナルと窯元の作品を同時に展開するが、商品選定の際に委員会などを設置して、どういう商品を並べるかを考える。窯元が作った新作などはまず並べてみるという考えで、窯元との協力体制を作ってやっていきたい。
	委員	レストランの部分について、再委託の費用はどれくらいで考えているか。
	申請者	現在のレストランについては利益は上がっていないと考える。それであれば、再委託の際に賃料0円でお願いしたほうが、どんぶり会館としてもマイナスにならないのではと考える。
	委員	業務用に特化した商品の扱いを示されているが、メインのお客を変えるということで、市場調査などは行っているのか。
	申請者	日本の陶器市場は3分の1が家庭用、3分の1がギフト、残りは法人が買って使うというものになっている。家庭用と法人の割合が大きくなってきている中で、どんぶり会館を専門性の強い方向に持っていくことで、岐阜県内の地場産品と合わせて、広範囲から人を呼べるというきっかけを作りたいと考えている。

区　分	発言者	内　　容
	委員	具体的な施策として、絵付け体験やレストランにおける器の料理の提案をするというものがあったが、先ほどの方針と合致するようなものは考えているか。
	申請者	絵付け体験は、必要なことであり、業務用でも割烹の上の立場になれば、出来上がった皿の上に加色するなども多い。そういうニーズを生かしつつ、一般の人にも作陶体験も行える環境があるので、使わない手はないと考えている。
3. 申請者によるプレゼンテーション		
申請者B（B1会社・B2会社）		
質疑応答		
質疑	委員	プレゼンテーションの中で申請者B2のことが出てこなかったが、業務における分担はどうなっているのか。
	申請者	計画書の中にあるが、申請者B2はスタッフの教育やシフトの管理などを行っている。また、各種メディアへの広報や宣伝活動などの部分を担当している。
	委員	実績の中の話で、商品が売れているという報告があったが、今後、窯元のアンテナショップとしての具体的な企画などはあるか。
	申請者	1つは絵付け体験ということで、夏休みを中心に小中学校の生徒に行っていただき、審査を行って賞を贈るということを考えている。 元々、道の駅については24時間トイレが使えるなど、便利さが本質であったと思うが、この5年間でそれに加えて、インスタやテレビなどの広報宣伝活動により、目的を持ってどんぶり会館に来てくれているというところが違いであると感じている。
	委員	バイクの専門駐車場の設置についての費用感を教えてほしい。また、芸能人が来た時の反響などがあったか。
	申請者	タレントがどんぶり会館に来て、作陶や食事などをしたところを撮影した。午前中に放映されたその日の午後に、お客が一気に増えた。Bランチには食事とどんぶりがセットになったもので販売しており、通常の日曜日で10個程度であるが、その日は91個売れた。その後数日間は影響が続いて売れていた。 バイク駐車場については、市役所にお願いする方向で考えている。 今回の放送については、こちらから強力にプッシュして収録・放映が実現している。しかし、一発で終了することがないように、SNSやインスタも含め引き続き推進していきたいと考えている。
	委員	どんぶり会館を美濃焼振興として、どういった方針で活かしていくのかを伺いたい。
	申請者	具体的な美濃焼振興をどう進めていくかの拠点作りだと思っている。どんぶり会館としてのPRも必要であるが、美濃焼振興のためにどんぶり会館にたくさん人が来てもらわないといけない。そのために美濃焼の情報も発信しないといけない。先日、名古屋において出張販売を行ったが、今後東京などにも広げていきたいと考えており、それは美濃焼の情報などを外に向けて発信し、それを受けた人がリピートするということが必要。ただ、どんぶり会館に来てもらうということだけではだめであり、東濃地区以外の人にも来てもらえるように情報発信をしていくことが必要であると考えている。
4. 採点	（点数記入、集計）	
5. 結果発表	委員長	1位について、合計点が435点。満点の6割の360点を超えたため、申請者Aを候補者として採用とする。
6. 委員長講評	委員長	今回、商業事業者が指定管理者候補となったが、どんぶり会館のコンセプトが美濃焼振興を目的としているものであるため、商社と窯元が手を取り合って実現していくことを期待する。
7. 今後の予定について	事務局	今後の予定について ①本日の選定結果を市長に報告する。 ②選定結果については、土岐市ホームページにて公表する。 ③12月議会において管理者の指定の議案を上程し、議決後選定された団体と協定書を結ぶ運びとなる。 ④委員の任期については、指定管理者が管理運営を開始する日までとなっている。